

# Support



<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

No,2  
令和8年6月15日  
編集・発行  
学校支援課 広報担当

## 令和7年度の生徒指導事案より

令和7年度で、解決が困難となった事案には、以下のようなものがありました。

- ★ 性に関する事案…性的いたずら（性非行）、盗撮、ポルノ製造・拡散（ディープフェイクポルノ含）
- ★ リストカット・オーバードーズ（OD）・自殺企図
- ★ 暴力行為

### 事前の対応（課題未然防止教育・発達支持的生徒指導）が重要

#### 課題未然防止教育

いのち

#### ◆ 生命の安全教育（性に関する授業）

- ・子どもたちが性暴力の被害者、加害者、そして傍観者にならないように、生命の尊さを学ぶ教育プログラムです。自分と相手の心身を尊重し、性暴力の正しい知識や対処方法を発達段階に応じて身に付けることを目指します

#### ◆ いじめ未然防止に向けた教育プログラム（いじめの未然防止に関する授業）

- ・「いじめに関する知識理解の学習」と「心の教育 道徳科の授業」をパッケージ化したいじめ未然防止のための教育プログラムです。規範意識の向上や自分たちで安心・安全な人間関係を築く力を身に付けることを目指します。

#### ◆ SOSの出し方教育（自殺予防に関する授業）

- ・子どもが危機的状況に直面した際、適切に援助希求行動（信頼できる大人に助けを求めること）ができるようにするための教育プログラムです。自殺予防や心身の健康の維持を目的としています。

◆は、教育課程に位置づけて計画的に実施 【資料格納場所】C4th書庫⇒08学校支援課⇒07生徒指導

#### 発達支持的生徒指導

子どもが自ら考え行動することができる力（自己指導能力）を育むことを目指します

4つの実践的な視点を持ちながら子どもたちへ働きかけます

#### 自己存在感の感受

- ・自分も大切な存在であると実感できるようにします

#### 共感的な人間関係の育成

- ・お互いに尊重し合える温かい集団づくりを行います

#### 自己決定の場の提供

- ・自分で考え、選び、決定する機会を増やします

#### 安全・安心な風土の醸成

- ・失敗しても安心して過ごせる環境をつくります

具体例

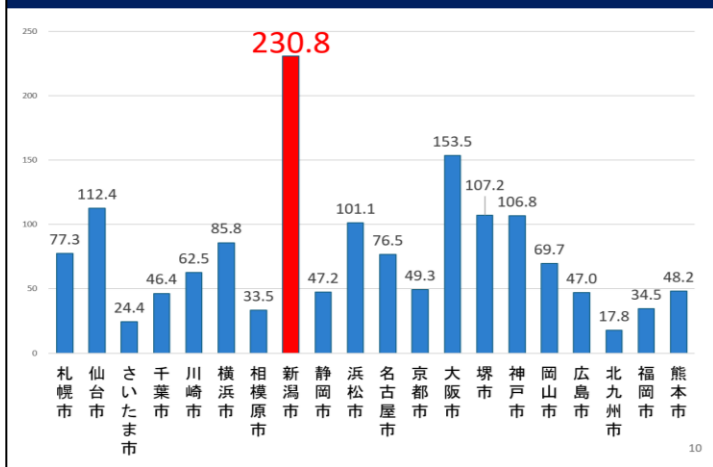
- ・積極的な人間関係づくり ・挨拶 ・声がけ ・励まし ・賞賛 ・対話
- ・授業や行事での個や集団への働き掛け

# トラブル？事故？けんか？⇒いじめの対応を！

子ども間の問題を「トラブル」「事故」「けんか両成敗」として処理し、その後問題が複雑化するケースが見られます。「双方が加害者であり、被害者である」こということも十分にありえます。まずは、「いじめとして対応する」ことが大切です。

## いじめの認知件数について

R6 1000人当たりのいじめ認知件数



文部科学省が行っている最新の問題行動調査の結果（令和6年度）、新潟市の「1,000人あたりのいじめ認知件数」は「230.8人」となり、平成29年以降8年連続で政令市の中では1番高い数値となりました。この数値は、全国、政令市の平均を大きく上回っています。教職員のみなさんの、いじめを積極的に認知しようとする意識の高さと、小さな事象を見逃さない取組の成果と言えます。

Q 次の場合、いじめ認知件数は何件でしょうか？

5月

9月

2月

Q A君が、5月と9月にB君からいじめを受けました。

さらに、A君は2月にも、C君、D君、E君からいじめを受けました。

認知件数

件

クイズの答えは、**認知件数1件**となります。

認知件数の重複を出さないために、新潟市独自調査において改善したシートを活用して、確認できるようにします。新潟市独自の調査では、「いじめの発生件数」も扱っています。自校のいじめ状況を把握するには、この「発生件数」を着目していく必要があります。（「発生件数は、3件」となります）

いじめ認知件数は、

「いじめられた(被害)

児童生徒の人数」であり、

同じ児童生徒が、その年

に、何度いじめられても、

「1」カウントです。